

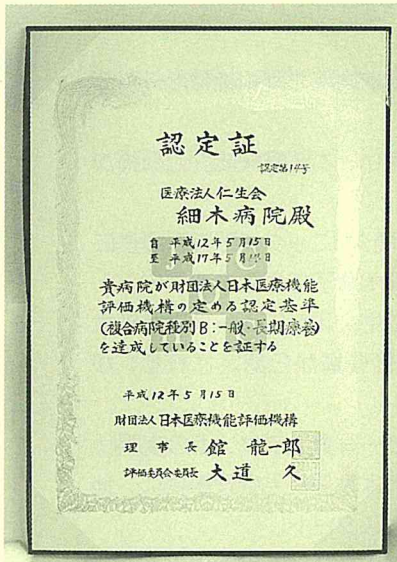
医療の質向上、躍進する仁生会

写真でつづる「じんせい」200号の歩み

情報紙「じんせい」が今月号で200号を迎えました。昭和62年1月の創刊から16年目で到達した節目の号になります。200号までの足跡を写真を中心にたどってみました(160号までは前回の特集号に掲載しましたので省略します)。



日高クリニックは、グループホーム「あったかホームかも」を開設した。(平成12年4月)



細木病院は、日本医療機能評価機構の第三者機能評価を受け、医療の質を評価され、認定された。その時の認定証。(平成12年5月)



細木病院は、高知の真夏の祭典「よさこい祭り」に初参加。60人でチームを編成し、ダイナミックな踊りを披露し、病院をアピールした。(平成13年8月)



細木ユニティ病院は、快適な療養環境の整備などを目指し、新館を完成させた。(平成13年6月)



三愛病院は、病気が回復期に入った保育園児を預かり、治療・保育する病後児保育所「愛あいルーム」を開設した。(平成14年2月)



三愛病院は、療養環境の向上を図るため本館を完成させた。(平成13年9月)

